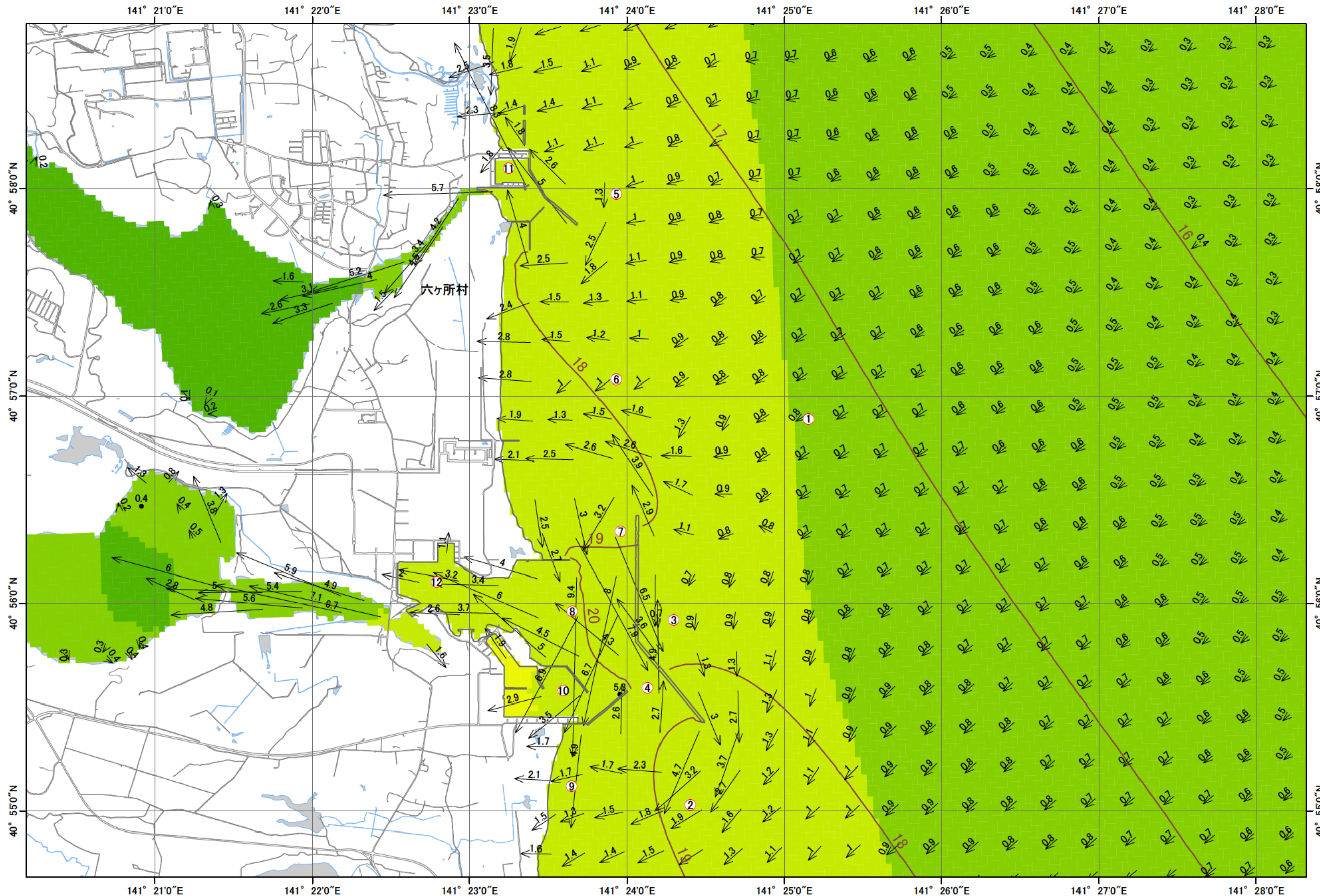


むつ小川原港 津波防災情報図 (進入図)

(三陸沖北部地震)

計算条件：最高水面（零位）
 隆起量：平均 -0.33m(-0.37m ~ -0.29m)
 Zo：0.85m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

最大水位上昇

- 3~最大3.1m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満

No. 経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

進入時最大流 [knot]

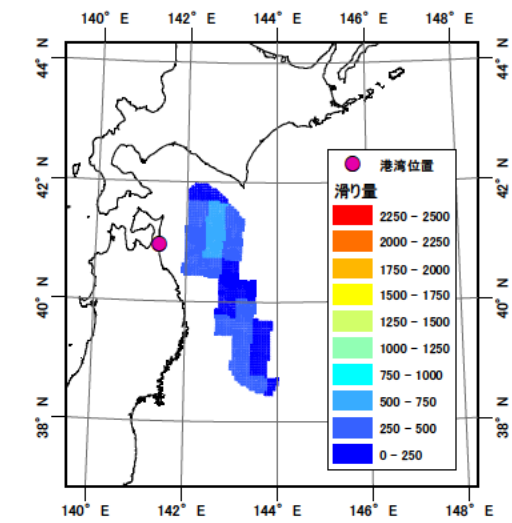
- 3 knot
- 2 knot
- 1 knot

○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出している。

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

断面モデル



三陸沖北部地震
 モーメントマグニチュード Mw 8.4

本断面モデルは、平成18年に中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び基礎地図情報(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平31情使、第30号 平成31年4月5日)

0 500 1,000 2,000 3,000 4,000 m

作成機関：海上保安庁
 防災情報図作成年月：令和元年7月(初版)
 地形データ作成年月：平成31年3月(初版)